

# なまこん信州

第78号  
Namacon Shinsyu  
2019.7.31  
(令和元年)

URL:<http://www.nr-coop.server-shared.com> E-mail:[nr-coop@muse.ocn.ne.jp](mailto:nr-coop@muse.ocn.ne.jp)



## 目次 contents

第45回通常総会開催される……………	2
令和元年度品質管理監査について……………	4
労働安全衛生に関する研修会が開催される……………	4
北から南から……………	5
事務局だより……………	6
編集後記……………	6

発行所  
長野県生コンクリート工業組合  
〒381-2213  
長野市広田48番地神明第1ビル5階  
☎026-288-8712  
発行責任者 山浦友二  
奥山印刷工業株式会社

## 山浦理事長が再任

# 組合員が一致団結して 業界を持続可能な

# 未来に残す産業へ！

工業組合の令和元年度第四十五期通常総会は、五月二十三日(木)長野市内において開催された。

総会では組合員による綱領斉唱の後、山浦理事長からのあいさつがあった。

長野県内の生コン業界は、オリ



ンピック特需をピークに出荷量、

工場数とも年々減少し、昨年の出

荷量は一二〇万㎡と非常に厳しい

経営環境にある。防災・減災・国

土強靱化予算に期待はするものの、

適正価格に見合った品質確保と安

定供給に努めつつ、過去にとらわ

れることなく、工場の集約化や機

械化、人材育成など考えられるこ

とはすべて実行し、組合員が一致

団結して、業界を持続可能な未来

に残す産業にしていかなければな

らないと強く訴えかけた。

山浦理事長が議長となり議案の

審議が進められた。

平成三十年事業報告及び同決

算が承認され、令和元年度事

業計画(案)・同予算(案)・

賦課金の額及びその徴収方法

(案)・役員報酬の最高限度

額(案)について、原案通り承認

された。特に、令和元年度の生コ

ン需要見込みが一〇万㎡と大き

く減少する見込みであることから、

新年度の事業計画では、生コンの

需要拡大に努め、品質の確保と安

定供給に組合員が一丸となって取

り組むこととした。また、労働災

害が増加傾向にあるなか講習会等

を開催しその撲滅を図るなどの取

り組みが承認された。

引き続き役員改選が行われ理事

十三名が満場一致により承認され、

総会審議事項が滞りなく全て終了した。

休憩をはさみ別室において新役

員による理事会が開催され、理事

長に山浦友二佐久支部長が再任さ

れ、副理事長に鷲澤幸一長水支部

長、山田尚人木曾支部長、中村裕

則諏訪支部長の三名が選任された。

新役員を代表して山浦理事長から

生コン需要の拡大に努め、ユー

ザーの期待に応える良質な生コン

の安定供給に引き続き務めていく





との力強いあいさつがあった。  
 続いて、組合運営などに対し永年ご尽力をいただいた、別記の方々に感謝状・表彰状が贈呈された。  
 その後、ご出席いただいた来賓を代表して、吉田博美参議院自由民主党幹事長（代理）、長田透政策

秘書）、清沢英男長野県議会議長、長谷川朋弘長野県建設部長（代理）、田下昌志建設技監）から、良質な社会資本を整備していくうえで、生コン業界の果たす役割と責任が益々増大していることや、品質に優れた生コンの安定供給が必要不可欠であることなど、それぞれの立場からお祝と励ましのご祝辞をいただき閉会となった。

続いて、祝賀パーティーが別室において開催され、お忙しいなかご出席を頂いた服部宏昭長野県議会議員、若林健太前参議院議員、小松裕前衆議院議員から其々のお立場で、業界に対する期待を込めたご挨拶を頂き、和気あいあいの内にも格調の高い、実りの多い総会となった。

## 感謝状受賞者の紹介

### ■ 役員等退任者(感謝状)

安筑支部	関川澄忠	(株)関川組
諏訪支部	諸橋賢二	諏訪アサノ生コン(株)
上伊那支部	春日伸一	(株)大和興業
大北支部	勝家哲夫	池田レミック工業(株)
上伊那支部	伊澤一郎	(株)伊那生コンクリート工業

### ■ 多年勤続功労者(表彰状)

木曾支部 加藤清 (株)吉川工務店

### ■ 15年以上無事故・無違反優良運転者(県警交通部長・工組理事長連名表彰)

上伊那支部 山田直樹 (株)伊那生コンクリート工業

## 全生連 受賞者御芳名

優良組合 上小生コン事業協同組合

# 令和元年度 品質管理監査について

## 長野県生コンクリート品質管理監査会議 事務局

平成三十一年度（令和元年度）

品質管理監査会議が去る四月四日に開催され、本年度の監査計画が原案通り承認されました。工場立ち入り検査及び査察は五月九日からすでに開始されていますが、計画では、監査は七〇工場七一プラント、査察は八工場以上の予定とされています。監査計画がスムーズに遂行されますよう、支部及び工場のご協力をよろしくお願いいたします。

令和元年度品質管理監査の方針は前年度と同様に「指導要望事項の早期改善と、呼び強度比の低減」及び、「品質管理に対する意識の向上」とし、具体的な施策を四項目としています。報告会及び品質管理責任者講習会などで報告した通り、昨年度は指導要望事項の目標値が未達成でしたので、この目標値を前年度と同様に六〇件

以下とするとともに、特に減点及び指導要望として多くを占めた、総括的事項のマネジメントレビューについての取組を重点事項としています。具体的にはオープンング会議又はクロージング会議において、経営者自らレビュー内容報告をしていただくこととしています。ご協力をお願いいたします。

それぞれの目標値として、是正勧告〇件、指導要望事項六〇件以下とし、前年度指摘事項の是正率を九七％以上としています。改善計画の報告については一か月以内に行うこととし、期限厳守としています。

また、呼び強度比の低減においては平均値の目標値を1・30、1・50を超える工場を〇としています。

品質管理意識の向上として行う

教育記録を基にした調査は、前年度の実績内容を確認するとともに、本年度監査員会議で、新たに作成した質問事項を各担当者へ行うこととしています。

査察は従来通り、工場選定を議長・副議長が行い、実施当日の八時に通知することとしております。査察あるいは監査においても、不適合の評価を受けた工場の取組については、厳しい内容となっておりますので再度ご確認をお願いいたします。査察実施に当たっては事前に打ち合わせを行うこととしておりますので、十全な対応と、ご協力をお願いいたします。

本年度は九月までにJIS改正対応が必須となっております。監査に当たっては、各工場の進捗に合わせ評価することとなりますので、ご了解をお願いいたします。

労働安全衛生に  
関する研修会が  
開催されました

○テーマ：長野県における労働災害事故の現況と課題

○講師：長野労働局 労働基準部 健康安全課 産業安全専門官

末長信二氏  
当工業組合は、令和元年七月四日に長野市内に於いて労働安全衛生に関する研修会を開催した。

### (1)労働災害の発生状況について

・全国同様、長野県の業種別労働災害発生状況は、製造業が多く、全産業における事故の型別としては、「転倒、墜落、はさまれ」が多い。特に「転倒」は働き手の高齢化が進んでいるためかと思われる。

今後この3つを無くすことが課題となる。中でも、「転倒」は、不注意が主な要因であり、どこにでも起こり得る事なので予防するのが難しい。

また、長野の発生時期の特徴として冬季が多い。対策としては、4S（整理・整頓・清掃・

清潔)の徹底や、余裕(時間・作業空間)のある作業をする様心がける。

県としての今までの目標は「労働災害ゼロ」を目指していたが、それは結果であるので、今年度から「危険ゼロ」を目指すこととしている。「危険ゼロ」とは事故の要因を潰すこと。

それには各自が注意することが重要であるので、朝礼等、危険箇所を教え合い情報をみんなで共有し、共通の意識を持つことが大切となる。

職場における熱中症の死傷者数は、長野県では平成三十年度は十九人で、二十九年と比較して約五倍に増加した。異常気象が原因と思われる、発生時間は、十四時から十七時位までで屋外で作業をする人に多い。管理者として、休憩場所の整備や定期的な水分塩分の摂取等、対応が必要となる。

①安全帯を「墜落制止用器具」に名称変更。  
②ハーネス型(一本つり)  
：原則これを使用する。  
胴ベルト型(二本つり)  
：高さが2m以上6・75m以下の作業床のない現場において使用。  
：墜落を制止する機能がな  
いことから使用不可。

(2)安全帯の政令・省令の改訂について

平成三十一年二月一日より、労

うか。国内外から沢山の観光客が訪れます。

松本にはこの松本城以外にも歴史的建造物があり、令和元年五月には旧開智学校が国宝指定の答申をされ、正式決定を待つばかりとなっております。

旧開智学校は明治時代初期の擬西洋風建築で、近代学校建築としては初の国宝指定となるそうです。工事費の七割が市民の寄付で建設されたそうで、教育に対する熱意が感じられます。

正面玄関に竜と天使の装飾があり、和洋折衷の一風変わった、し

働安全衛生法の政令・省令が施行された。(猶予期間は平成三十四年一月一日まで)

③ハーネス型を使用する場合、「安全衛生特別教育」が必要となる。

かしながら凛とした風格の漂う建築物です。  
このように歴史的背景もあり教育に重きを置いてきた松本ですが、今では他にも街の特色があります。  
毎夏、国際的な音楽祭であるセイジ・オザワ松本フェスティバルが開催されますし、松本美術館では縁のある芸術家である草間彌生さんの美術品を主軸に、様々な現代美術に触れることができます。  
毎年五月にはあがたの森公園でクラフトフェアが開かれ、多彩な手工芸品が展示販売されたりと、



音楽・芸術・創作等の文化的活動も大切にされています。

また、身近な生活に密着した事で言えば、松本は空気がよく、数多くの井戸があり、湧水に恵まれています。湧水で入れたコーヒーや緑茶はまるやかで甘く感じられ、とても美味しいです。ここ最近では目立たない路地裏にも素敵なカフェが沢山できました。散策に疲れた時の一休みに丁度良いかと思えます。

地元民でもまだ新しい発見のある信州松本。是非、一度お越し頂ければと思います。

信州松本



松本生コン事業協同組合 遠藤雅子

私が住んでいる松本市は、日本列島のほぼ中央に位置しており、国宝松本城を中心に発展してきた城下町です。

近年の城ブームのおかげでしょ

事務局  
だより

活動報告・予定

自：平成31年4月  
至：令和元年8月

## 令和元年度

- 6月19日 第三回正副理事長会議
- 6月19日 国・長野県発注機関への要請  
(役員改選に伴う挨拶及び生コンの需要拡大について)
- 7月4日 第一回労働安全衛生委員会会議  
研修会 長野労働局 労働基準部  
「長野県における労働災害事故の  
現況と課題について」
- 7月12日 長野県建設部施設課への要請  
(透水性舗装コンクリートの工法  
についての説明)
- 7月24日 第二回監査員会議  
第二回技術委員会、  
協組技術委員長・部会長合同会議
- 8月5日 第二回品質管理監査会議
- 4月16日 第一回技術委員会、  
協組技術委員長・部会長合同会議
- 4月16日 品質管理監査員研修会
- 4月22日 第一回正副理事長会議  
第一回理事会  
会計監査
- 5月23日 第二回正副理事長会議  
第二回理事会  
工組・協組連通常総会

事務局職員  
の紹介

平成31年4月より逢澤正文事務局長を迎え、早速指揮をとっていただいておりますので、よろしくお申し込み申し上げます。

(^o^)  
私たちが職員にもいつもニコニコ笑顔で接して下さり、事務所が明るい雰囲気になります (M記)

## 編集後記

平成に代わる新しい元号について、政府は四月一日の臨時閣議で「令和(れいわ)」とすることを決め、出典は日本最古の歌集である万葉集であると発表しました。「令」の文字には複数あり、正解や決まりはなく、字体が多様な漢字の代表的なひとつだとして、平成二十八年に出された指針では、「字の形の違いは習慣によるもので、本来は問題にする必要がない」と明記しているそうです。これに伴い各種書類等、日常の仕事にも影響し、ある機関のアンケート結果では、「改元が仕事に影響がある」と答えたのは六五%という結果に。また、最近では元号よりも西暦が採用されることが多くなりましたが、実際の職場での使用頻度を聞くと、「元号：四五%」、「西暦：二八%」となったそうです。ちなみに、「元号を使うと答えた

人で多かったのは、省庁や自治体を取引先としていた業務や金融関係だったそうです。

さて、去る五月二十二日に、工業組合・協同組合連合会の令和元年度通常総会が長野市で開催され、全組合員の賛同を得て、今年度の事業計画及び収支予算(案)が承認されました。今後も、生コンクリートの技術の向上やコンクリート舗装の普及推進に向けて、研修会、講習会を開催するとともに、行政機関及び関連団体等との連携を一層強固なものとし、組合員一丸となって取り組んでいける様、努めてまいりたいと考えております。

生コン業界も地域によつては大変厳しい状況が続きますが、各組合員・支部(協組)と工業組合(協組連)との連携を強化し、生コン業界の動向や品質監査・技術等に関する情報を積極的に「メール情報」等を活用して、発信して参りますので、よろしくお願いたします。

事務局長  
逢澤 正文